

高齢者等サロン運営の注意事項

1 感染の恐れのある参加者の参加を止める

参加者が次の事項に該当する場合は、参加しないよう求める。

- 体調がよくない(発熱、咳、のどの痛みなどの風邪症状やだるさ息苦しさ)
- 同居の家族や身近な知人に発熱などの感染が疑われる者がいる
- 過去14日以内に入国制限の国や地域に渡航やその国の在住者と濃厚接触した

2 参加者に感染予防策を伝える

参加者がサロン利用中に感染予防策を講じるよう次の事項を求める。

- マスクの着用
- こまめな手洗い、手指消毒の実施
- 他利用者と物などの共有、交換を行わない

3 感染を防ぐ環境づくり

サロンの会場内で感染を予防するよう次の事項を行う。

- 窓やドアを常に開放するなど、換気を行う
- サロン開始前にドアノブなど、手を触れる場所をアルコール消毒する
- 参加人数を会場収容人数の半数以下にする

4 感染を防ぐ内容

できる限り感染の恐れのないよう次の事項を踏まえて実施内容を決める。

- 利用者同士が2メートル程度の間隔を空けて行うことができる
- 利用者同士が物(体操の用具等)を手渡さない
- 大きな声を出したり、息切れする運動を避ける
- 会話と飲食を同時に行う内容を避ける

サロン開始時チェックリスト

1 サロンの案内	
	マスクの持参を案内する
	手を拭くハンカチやタオルの持参を案内する
	体調確認してから参加することを案内する(体調確認シートの持参)
	ゴミは各自で持ち帰るよう案内する
2 サロン開始前の会場準備	
	窓やドアを開けて換気を行う
	ドアノブや手すりなどをアルコール除菌する
	手洗い場に石鹸があるか確認する
	手洗い場に手洗いのチラシを掲示する
	入口などに利用のポイントを掲示する
	参加者名簿を用意する
3 サロン実施中	
	入口で参加者の体調を確認する
	参加者名簿に氏名と連絡先が記載されているか確認する
	参加中に体調が悪くなった参加者を確認する
	もしも後日、新型コロナウイルス感染症を発症したらすぐに連絡するよう全員に伝える
4 サロン終了後	
	ドアノブや手すりなどをアルコール除菌する
	手洗いと手指消毒を行う
	手洗い場と入口の掲示物を持ち帰る



安全安心に高齢者サロンを利用するポイント



感染予防の基本

- マスクの着用
- 活動前後の手洗い
- ドアノブやスリッパ、スイツ



事前に体調をチェック

- 体温は平熱である
- 発熱や咳、のどの痛みなど風邪の症状がない



サロン参加の注意事項

- 人との間隔をできるだけ(2メートル程度)あける
- 他の利用者と物を交換したり共有しない
- 活動終了後は、すみやかに解散する



マスク着用時の注意点

※マスクをして運動する場合、身体への負荷が著しく大きくなる可能性があります。かかりつけ医に相談するなどし、無理のないよう気を付けましょう。



※マスクをしていると喉の渇きに気づきにくく、熱中症のリス